

APPLIED BUSINESS STUDIES REVIEW

ビジネス 実務論集

No. **15**

1997年3月

〈第15回全国大会記念講演要旨〉

高等教育における実務教育の展望

—秘書研究と秘書教育の発展方向を探る— 会長 和野内崇弘… |

論文

「ビジネス実務」研究へのアプローチ ————— 森脇道子… 1
秘書をめぐる環境変化 ————— 福永弘之… 11
デジタル・エコノミーとビジネス実務 ————— 池内健治… 23

報告

ビジネス実務教育における創造性育成の試み ————— 和田佳子・椿 明美… 33
日韓秘書教育修了者の比較研究
—その仕事と秘書教育効果の検証— ————— 島本みどり・水谷啓子・森田園子
油谷純子・金 晋夏・洪 淳伊… 43
秘書イメージの発達の变化に関する研究 ————— 内山伊知郎・中村健壽・加藤宏美… 57

研究ノート

雇用システム変革期に求められるビジネス実務教育 ————— 桐木陽子・森貞俊二・渡辺和枝… 67
中国における「紙」文書の原初 ————— 中村健壽… 75
ビジネス情報技術とコミュニケーション ————— 河原和英… 83
秘書職と広報職の役割行動における葛藤と協働 ————— 井上 宏… 89

編集後記

今回は学会の名称変更にもなう内規の見直しなどで、応募期間がずれましたが14編の応募がありました。平成9年1月14, 15の両日に編集委員会を行いました。応募論文の中には学術論文の体裁をとっていないものがありましたし、集計にあたって事項によって母集団が異なっているなどの不手際なものもあって、10編が採択されました。

論文は3編で「『ビジネス実務』研究へのアプローチ」「秘書をめぐる環境変化」「デジタルエコノミーとビジネス実務」のいずれもが「ビジネス実務」の模索や秘書とビジネスを結びつけようといった学会の新しい方向にそのものになっています。報告は、「ビジネス実務教育における創造性育成の試み」「日韓秘書教育修了者の比較研究」「秘書イメージの発達的变化に関する研究」の3編で、創造性の授業実践や比較秘書論、秘書イメージ研究とバラエティーに富んでおり、幅もでできました。

研究ノートは「雇用システム変革期に求められるビジネス実務教育」「中国における『紙』文書の原初」「ビジネス情報技術とコミュニケーション」「秘書職と広報職の役割行動における葛藤と協働」の4編でビジネス実務と秘書学が混在しています。

学会名称の変更で、はじめはとまどいがあったようですが、応募状況をみるかぎりでは、幅が広がり、応募もふえそうで安心しました。

しかし、ビジネス実務まで広がってきましたので書籍、大学の論文のみならず新聞・雑誌までたんねんに読んできまかな資料収集が一段と求められるようになります。

〔福永弘之記〕

- 編集委員 福永弘之（委員長）、堀江 光、田中篤子、佐藤啓子、中佐古勇、森貞俊二、佐藤東九男、大宮 登

ビジネス実務論集
No.15 1997
平成9年3月発行

発行 日本ビジネス実務学会 編集委員会
〒004 札幌市豊平区清田4条1丁目4番1号
札幌国際大学短期大学部内
TEL(011)883-2490
制作 (株)アイワード
TEL(011)241-9341(代)